

まずん

7月号

白保小学校 学力向上推進担当 知花貴人 令和6年 7月 8日 (火)

本の紹介

1学期がスタートしてあっという間に7月に入りました。残りわずかで夏休みに入ります。子どもたちはウキウキ・ワクワクしていますが、7月は1学期まとめの時期でとても大切な月となります。自分は1学期何が出来るようになって、何が苦手なのかをはっきりと知ることで、夏休みの過ごし方が大きく変わります。夏休みはさまざまな楽しみがあると思います。楽しむことも大切ですが、学習のリズムを崩してはいけません。夏休み中でも読書する時間をつくり、学習に役立てたり、学び方を学んだり、勉強する目的を考えてみるのもいいと思います。そこで、今回は以下の本を紹介したいと思います。

①『となえておぼえる漢字の本小学2年生 改訂4版』^①

下村昇 著 偕成社^②

※小学2年生で習う漢字160字を学習。漢字のなりたちを知って楽しく学べる、書き順が「口唱法^③」で正しく身につくなどの特徴はそのままに、^④文例や熟語を充実、学習の注意やクイズも付加。^⑤



②『こども「学問のすすめ」』^①

齋藤 孝 著 筑摩書房^②

※「どうして、勉強する必要があるの?」「見た目を明るくしておこう」^③『学問のすすめ』の精神に子どもの頃から接することで、生きる柱になるはずだ。^④



⑤『小学生の究極の自学ノート図鑑』^①

森川正樹 著 小学館^②

※将来にわたって身に付く学びとは、自ら「学びたい」という意欲をもって実践することです。^③その具体的な学習スタイルが「自学ノート」です。^④子どもの学習意欲が高まれば、ここまで素晴らしい学びの成果が表れるのか!と感動するほどの自学ノートの実例が満載です。^⑤



①『いろんな人に聞いてみた「なんで勉強しなきゃいけないの?」』^①

WILLこども知育研究所 編著 金の星社^②

※「なぜ勉強をしなきゃいけないのか」。このたった一つの疑問を、さまざまな分野で活躍する10名に投げかけてみました。^③それぞれの子ども時代を描いたマンガと、バラエティ豊かな回答から、勉強をする意味が見えてきます。^④



研究者や作家、アスリートなど、さまざまな分野で活躍中の10名に聞いてわかった、勉強の意味!

編著 / WILLこども知育研究所

★成長し続ける 自保っ子★



1年生



4年生



1年生



5年生



2年生



6年生

